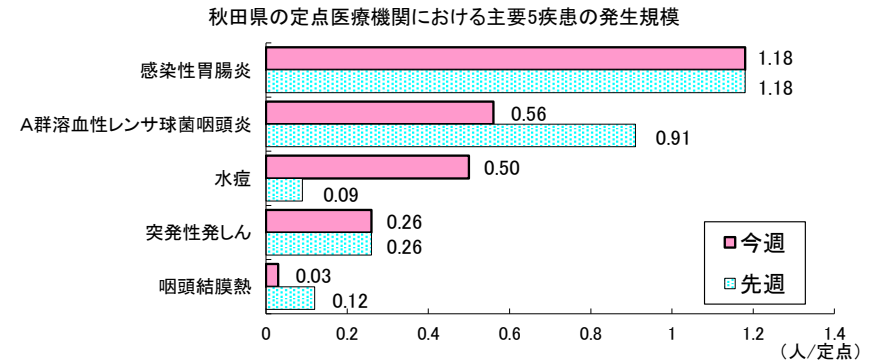




【第5週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で同規模です。保健所別では、能代、秋田中央、大仙、湯沢で増加、秋田市、大館、北秋田、由利本荘、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で38%減少しています。保健所別では、由利本荘、湯沢で同規模、秋田市、大館、秋田中央、大仙で減少しています。
3. 水痘は、県全体で5.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市で増加、大館、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢				
	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減	第4週	第5週	増減					
RSウイルス感染症																																
インフルエンザ																																
咽頭結膜熱	0.12	0.03	↘	0.33		↘												0.25		↘	0.25		↗				0.25		↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.56	↘	2.17	1.50	↘	1.25	0.75	↘							1.25	0.75	↘	0.25	0.25		1.50	0.50	↘				0.25	0.25			
感染性胃腸炎	1.18	1.18		2.17	1.33	↘	1.25	1.00	↘	1.00	0.50	↘	1.33	2.67	↗	1.25	1.75	↗	0.75	0.25	↘	0.50	1.50	↗	1.00	0.33	↘	0.75	1.00	↗		
水痘	0.09	0.50	↗	0.17	2.83	↗	0.25		↘										0.25		↘											
手足口病																																
伝染性紅斑	0.03	0.03																0.25	0.25													
突発性発しん	0.26	0.26		0.50	0.33	↘	0.50	0.25	↘		0.50	↗	0.33		↘				0.25		↘		0.25	↗	0.33	0.67	↗	0.25	0.50	↗		
ヘルパンギーナ		0.03	↗								0.50	↗																				
流行性耳下腺炎		0.03	↗		0.17	↗																										
川崎病																																
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*					
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*					
細菌性髄膜炎																*	*															
無菌性髄膜炎																*	*															
マイコプラズマ肺炎																*	*															
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*															
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・五類感染症の梅毒が大仙保健所管内から1人、報告されました。
・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から5人、横手保健所管内から3人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-4週 (全国, 秋田), 5週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

トピック

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう>

秋田県内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり患者報告数は、第5週現在0.56(人)と低い値となっていますが、例年、2月から3月は患者報告数が多くなる傾向にあります(図)。今後の流行状況に注意し、感染予防に努めましょう。

■感染経路・症状

主な感染経路は咳・くしゃみなどによる飛沫感染と、手指を介して鼻や口から感染する接触感染です。発病初期に感染力が強いことから家庭内感染も多く、学校では集団感染を引き起こす場合もあります。感染すると2~5日の潜伏期間を経て、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感によって発症し、嘔吐を伴うこともあります。

■予防・治療

手洗い、マスクの着用など一般的な予防対策を励行しましょう。治療には抗菌薬が使用され、2~3日で症状は改善します。しかし、自己判断で服薬を中止すると、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を併発するおそれがありますので、処方された薬は医師の指示に従って飲みきるようにしましょう。

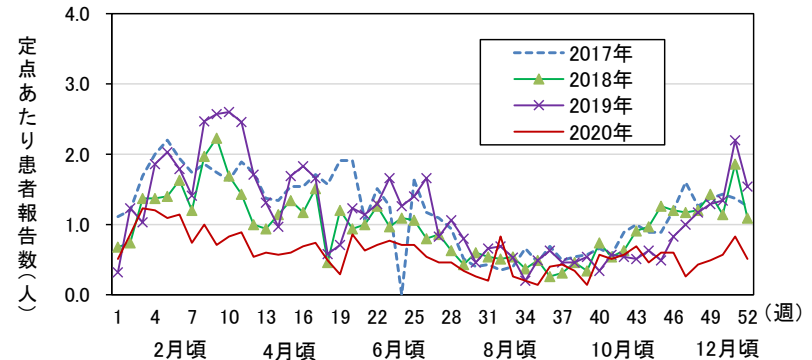


図 秋田県内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者発生動向

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎集団発生1件、水痘集団発生1件の報告がありました。

Table with columns: 種別, 所在地, 施設名, 報告日, 有症者数 (利用者, 職員, 計), 把握期間, 症状, 備考. Details group outbreaks of infectious gastroenteritis and chickenpox.



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	秋田市(2.83)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		